

「友だち同士のけんかとその解決」に関する教材

第1 事例設定の趣旨

1 私法分野報告書における記述

当協議会は、平成21年5月15日、報告書「私法分野教育の充実と法教育の更なる発展に向けて」（以下「私法分野報告書」という。）を取りまとめたが、その中で、紛争解決の分野に関する法教育について、次のように述べたところである。

「人間は社会的存在であって、他者との交わりなしに生きていくことはできず、したがって他者との摩擦や紛争とその解決への努力は人間存在にとって本質的に避けられないものである。そして、学校生活においても、他者との摩擦や紛争は日常的に経験される場所であり、紛争解決に関する法である民事手続法の意義についての知識・理解を深めることは重要である。紛争解決の分野に関する教育を通じて、子どもたちがより豊かな人間関係を構築する能力を身に付け、さらには、実社会においてトラブルに巻き込まれた際にも、適切な態度・行動をとることができるようになるものと考えられる。」

また、私法分野報告書においては、紛争解決の分野についての法教育が目指すもののひとつとして、「紛争を解決する方法として、当事者間の交渉、第三者を交えた調停、仲裁、裁判といった手続があることも踏まえつつ、身の回りの紛争を適切に解決する能力の涵養」を挙げ、その具体的内容として、「摩擦・衝突が起こった際の当事者の取るべき態度・行動（相手方への配慮を忘れず、根拠に基づいて主張・議論をすること等）や第三者として介入する心構え（公平な立場から双方の主張をよく聞き、争点を整理して解決に導くこと等）などを取り扱う学習の充実」を提言した。

本事例は、こうした当協議会の考え方に基づいて、小学校における紛争解決の分野に関する法教育の具体的な在り方の一例を示すものである。

2 事例設定の趣旨

私法分野報告書において述べたとおり、小学校の児童であっても、他者との摩擦や紛争を避けることはできない。友だちとの間でもめごとを起こしたり、けんかをしたりすることは、共同で生活する以上、いわば当然のことである。

しかし、児童は、友だちとのめごとが起こると、つい感情的になり、友だちの悪口を言ったり、さらには暴力をふるったりして、必要以上に関係を悪化させてしまうことがある。めごとやけんかを起こしてしまうことはやむを得ないとしても、友だち同士の関係を修復できなければ、紛争当事者本人が嫌な思いをするのみならず、周りの児童にも影響を及ぼすことにもなりかねない。

本事例で取り上げる題材は、高学年を対象にけんかを解決するための交渉・調停を役割演技によって児童に行わせることを通じて、自分たち自身の力や第三者の介入のもとで紛争解決を行うことの意義と心構えを児童に実感として理解させようとするものである。小学校においては、発達段階として、民事司法制度の意義についての学習ができるまでには至っていないと思われるが、本事例のような学習を行っておくことで、中学校段階以降で、民事司法制度や紛争解決制度の意義を学ぶ際に、より深い理解を得る土台を形成することが期待される。

また、本事例は、与えられた題材の中で、自分が担当する役割として不満に思うこと、知りたいことは何かを正確に把握し、その上で、けんかの当事者としてどのような言葉づかいで自分の不満を相手に伝えるか、相手にどのような質問をするか、どのような態度で相手の不満を聞くか（題材①）、上記の各点に加えて、調停人を交えて話し合いをする場合には、各当事者・調停人としてど

のような点について留意すべきか(題材②)を、児童なりに考えさせるよう工夫されており、読む、話す、聞くといった基本的な言語能力を身に付けることも期待される。

第2 事例

1 事例「友だち同士のけんかとその解決」の構成

題材① 「けんかの解決方法を考えよう(交渉編)」

題材② 「けんかの解決方法を考えよう(調停編)」

題材③ 「生活におけるけんかとその解決方法」

2 事例の目標

- ① 紛争が発生することは避けられないこともあり、そのような場合には、発生した紛争を解決することが重要であることについて理解する。
- ② 紛争の解決方法として、当事者間の交渉や、第三者を交えた調停等があり、それぞれの特徴等について、役割演技を通じて実感として理解する。
- ③ 生活の中で起こる紛争を解決するために必要な態度や心構えを身に付ける。

3 事例の位置付け

本事例に関する学習は、新小学校学習指導要領の特別活動「学級活動」の「共通事項(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全」「ウ 望ましい人間関係の形成」において実施するが、第5学年又は第6学年を主な対象とする。

4 事例の指導計画

本事例は、3つの題材から構成されており、可能であれば、題材①から題材③まで、3時間をかけて、掘り下げた学習を行うことが期待される。もっとも、学校の実態により、3時間の授業として取り扱うことが困難な場合には、題材①又は題材②のいずれか1時間だけの授業を単独で取り扱うことも、これらの両方の学習を2時間扱いで実施することも可能なように構成されている。

(1) 題材① 「けんかの解決方法を考えよう(交渉編)」

この題材は、マンガの貸し借りがもとで起こったけんかについてのシナリオを与え、児童の代表者に役割演技をさせた上で、班別にけんかの解決に向けた当事者間の交渉を行わせるものである。対立＝悪ではなく、対立を解決することが重要であることと同時に、感情的対立の中で問題を解決するためにはどのように振る舞うべきかを実感として理解させることをねらいとしている。

(2) 題材② 「けんかの解決方法を考えよう(調停編)」

この題材は、題材①と同じ事例を用いて、当事者間の交渉ではけんかを解決することができなかった場合を想定して、調停人を交えて役割演技をさせた上で、班別にけんかの解決に向けた協議を行わせるものである。対立＝悪ではなく、対立を解決することが重要であることと同時に、調停人を交えて問題を解決する際に、当事者・調停人として必要となる態度・心構えは何かを実感として理解させることをねらいとしている。

(3) 題材③ 「生活におけるけんかとその解決方法」

この題材は、題材①及び題材②における学習を踏まえて、けんかの当事者間の交渉における留意事項、調停人を交えて紛争を解決することの意義、調停人としての留意事項を知り、これらを実際の生活に生かせるよう考えを深めさせるものである。

「友だち同士のけんかとその解決」

(1) 題材① 「けんかの解決方法を考えよう (交渉編)」

1 題材のねらい

・友だち同士のけんかを当事者間の交渉によって解決する活動を通じて、けんかとその解決方法について考えさせる。

2 展開 (単発で題材①を扱う場合)

	学 習 内 容	○学 習 活 動 発問 (教師=T), 予想される発言 (児童生徒=S)	指 導 上 の 留 意 点	資 料 等
導 入	1 けんかについて	T:「けんかはいいことだろうか, 悪いことだろうか。」 S:「悪いことだと思う。」 「よくないとは思いますが, どうしてもけんかになってしまうことがある。」 「けんかしてしまうことは仕方ないけど, ずっとけんかし続けることはいけない。ちゃんと仲直りすることが大切。」 T:「今日は, けんかしてしまった人たちになりきってみて, 仲直りできるか話し合ってみよう。」	・ 事前にアンケートを行い, その結果をもとにけんかについて振り返ることも考えられる (ある学校で行われたアンケート例は, 参考資料1のとおり)。	参資料1
友だちとのけんかをどのようにして解決したらよいのだろうか。				
展 開	2 けんかの役割演技と解決に向けた当事者間の交渉	○A君とB君で起きたけんかについてのシナリオを児童の代表が役割演技する。 ・ 役割演技を終えた生徒に, どんな気持ちになったか確認する。 ○4人ずつの班に分かれ, A君役(2人), B君役(2人)をそれぞれ分担し, A君・B君になりきって, 仲直りできるように話し合う。 ・ 最初に作戦タイムを取り, どんなことを相手に対して言いたいのか, 何を相手から聞きたいのか, 相手はどんなことを言ってくると予想されるのか, どのように解決したらよいかなどを考えた後で話し合いに入る。 ・ 与えられた事例の中では分からない事柄について質問があったら, 自分たちで答えを想像して答えることとする。 ○班の話し合いの結果について, 班ごとに発表する。 S:「また, 言い合いになった。」 「ますます, けんかになった。」	・ けんかしたときの気持ちを思い出させながら, シナリオ通りに代表者に役割演技させる。 ・ シナリオの言葉づかいについては, 地域の方言などを織り込むとよい。 ・ 資料1は最初から配布はせず, 役割演技が終わってから配布する。 ・ 必要に応じて, 教師からシナリオの内容を分かりやすくまとめて, けんかの内容を児童がとらえられるようにする。 ・ けんかとその解決に向けた努力を現実のものとして実感することができるよう話し合わせることに留意する。 ・ 安易に妥協してしまわないよう, お互いが怒って感情的になっているという自分たちの立場を理解し, その立場になりきって議論するように指導する。	参資料1 ワークシート 1

		<p>「自分たちは、けっこう、落ち着いて話せた。」</p> <p>T：「それは、どうしてだろうか。」</p> <p>S：「2人ともすごく怒っているから。」</p> <p>「話し合いの中で相手グループが言ったことが気に入らないから。」</p> <p>T：「このまま2人で話し合いをしても解決できないときには、どうすれば解決できるだろうか。」</p> <p>S：「別な人に入ってもらおうと思う。」</p> <p>「先生に話す。」</p> <p>「親に相談する。」</p> <p>「Cさんが間に入って話を聞いてみる。」</p>		
まとめ	3 けんかとその解決について	<p>○けんかが起こってしまってもそれを解決することが大切であること、感情的に話し合うとうまくけんかを解決できないこと、当事者だけではうまく解決できなかったら、誰かに入ってもらおうと話し合いがしやすいことについて、自分の考えをまとめる。</p> <p>○けんかに関する自分自身の過去の経験を思い出し、どのような点が弱かったのかを振り返る。</p> <p>○これからの自分の生活においてどのように生かしていくかを考えさせる。</p> <p>○大人の世界でも争いや対立は存在するが、当事者の間に入って争いを解決するものとして裁判所などの司法機関があることについて補説してもよい。</p>	<p>・この時間の学習の後に題材②の学習を行う場合は、「次の時間では、第三者がけんかの調停に入ったらどうなるのかについて、考えていこう」という形でまとめる。</p>	ワークシート1

(2) 題材② 「けんかの解決方法を考えよう（調停編）」

① 題材のねらい

・友だち同士のけんかを調停によって解決する活動を通じて、けんかとその解決方法について考えさせる。

② 展開（題材①の学習の後にこの授業を行い、この授業の後に題材③も扱う場合）

	学習内容	学習活動 発問（教師＝T）、予想される発言（児童生徒＝S）	指導上の留意点	資料等
導入	1 事例の確認	<p>○シナリオの役割演技をもう一度行い、事例を確認する。</p> <p>○各班ごと（4人）にA君（1人）、B君（1人）、Cさん（2人）に役割を決めて、話し合いの仕方を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活発な議論を行わせるため、学級の実態にあった班を意図的に構成しておくことも考えられる。 題材①の学習は行わず、単発でこの題材を扱う場合は、題材①の導入部分を用いる。 	資料1
展開	2 調停による話し合い	<p>友だち同士のけんかをどのようにして解決したらよいのだろうか。</p> <p>○前の時間の題材のA君とB君のけんかがうまく解決できなかった場合に、Cさんに間に入ってもらうこととして、話し合う。</p> <p>T：「Cさん役は、A君、B君が仲直りできるように、お互いがうまく言えないことを聞き出そう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> Cさん役が、A君役とB君役が持っているシークレットカード 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの立場を理解し、その立場になりきって、仲直りできるような解決策を考えた話し合いができるようにする。 解決策を考えるに当 	ワークシート2 資料2・3 資料2

		<p>ド（資料2）に書かれていることを聞き出せたら、質問は成功</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A君役、B君役は、それぞれ言いたいけどうまく相手に言えないことが書かれたシークレットカードを使って答える。シークレットカードに書かれていることを聞かれたら、カードの記載のとおり答えるが、シークレットカードに書かれていないことを聞かれた場合は、役になりきって答えを考える。 ・ A君役、B君役は、Cさん役からの質問が終了したら、その役割にとって望ましい解決を考える。 ・ Cさん役は、司会者と記録者になり、A君役・B君役のそれぞれの言い分を聞いて、どんな解決策がよいかを考え、資料3に書き込んで、最後に提案できるようにする。 <p>○話し合いの結果を班ごとに発表する。</p> <p>T：「仲直りできた班に、どんな解決策になったか発表してもらおう。解決できた班は、どうして解決できたと思うか。」</p> <p>S：「Cさん役がお互いの話をよく聞いて、問題を整理してくれたから。」</p> <p>「Cさん役がいい解決方法を思いついたから。」</p> <p>「A君役・B君役も、Cさん役がいることで冷静に話ぐできたから。」</p> <p>「Cさん役に話すことで、いやな気持ちが少しスッキリする気がしたから。」</p> <p>T：「解決できなかった班は、どうして解決できなかったと思うか。」</p> <p>S：「感情的になって、相手の話を聞かないで自分のことばかり主張したから。」</p> <p>「Cさん役が片方の当事者に肩入れしているように見えたから。」</p>	<p>たつては、例えば謝罪については具体的にどのようなことについて謝るのか、物の引渡しの場合にはいつまでに引き渡すかなど、できるだけ具体的に考えるよう指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特にCさん役には、争点を明確にするなど、話し合いを整理しながら進めるよう指導する。 ・ それぞれが提案する解決策の例は、参考資料2のとおり。 	
<p>ま と め</p>	<p>3 けんかとその解決について</p>	<p>○第三者が入ると話し合いがうまくいくことがあるのはなぜかなど、話し合った感想をまとめる。</p>	<p>○題材②で学習を終える場合は、次のようにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けんかが起こってしまってもそれを解決することが大切であること、感情的に話し合うとうまくけんかを解決できないこと、当事者だけではうまく解決できなかったら、誰かに入ってもらおうと話し合いがしやすいことについて、自分の考えをまとめる。 ・けんかに関する自分自身の過去の経験を思い出し、どのような点が 	<p>ワークシート2</p>

			<p>弱かったのかを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none">• これからの自分の生活においてどのように生かしていくかを考えさせる。• 大人の世界でも争いや対立は存在するが、当事者の間に入って争いを解決するものとして裁判所などの司法機関があることについて補説してもよい。	
--	--	--	---	--

(3) 題材③ 「生活におけるけんかとその解決方法」

① 題材のねらい

- ・交渉と調停の違いを意識しながら、前時の学習の問題点やCさんの立場について考えさせ、紛争解決を実際の学校生活にどのように生かしたらよいかを話し合うことができる。

② 展開

	学習内容	○学習活動 発問 (教師=T), 予想される発言 (児童生徒=S)	指導上の留意点	資料等
導入	1 交渉と調停の結果の違い	○A君とB君で話し合った時とCさんが入って3人で話し合った時の結果を振り返る。 T: 「A君とB君の話し合った時とCさんが入って3人で話し合った時は、それぞれどういう結果になったか。」 S: 「当事者同士の話し合いでは、またけんかになって、うまく解決できない班が多かった。」 S: 「Cさんが入ると、お互いの気持ちを聞き出せるから、うまく解決できる班が多かった。」	・ A君とB君で話し合った時やCさんが入った時の話し合いの結果を振り返らせる。	
展開	生活の中でけんかが起きたら、どのようにして解決したらよいだろうか。			
	2 当事者同士の交渉で紛争を解決するときの留意点	○A君とB君の当事者同士での話し合いの結果を踏まえ、当事者同士でけんかを解決するとき気をつけるべきことについて考える。 T: 「実際に、友だち同士の間で問題が起きたときに、お互いが注意しなければならないことは何だろう。」 S: 「ものの言い方に気をつけないと、余計けんかになる。」 「暴力をふるってはいけない。」 「感情的にならないように気をつける。」 「自分が悪いことは悪いと認め、素直に謝る。」	・ 前時までの学習を踏まえて、児童が実感として気をつけなければならないと思ったことを引き出すように留意する。	ワークシート3
	3 第三者を交えた調停で紛争を解決することの意義	T: 「けんかを、当事者だけでなく、他の人を交えて解決しようとしたときは、当事者だけで解決しようとしたときと、どんな違いがあるだろうか。」 S: 「けんかの当事者の気持ちが楽になって、言えなかったことも言えるようになる。」 「間に入ってくれる人に対しては、けんか腰で話をするのが少なくなるので、話し合いがしやすい。」 「間に入ってくれる人は、冷静にけんかを見ているので、当事者同士では思いつかなかった解決方法を教えてもらえる。」	・ 前時までの学習を踏まえて、児童が調停の意義を実感できるよう留意する。	
	4 調停人の留意事項	T: 「誰かがけんかの調停をしてくれたら、その人がどんな態度でも、けんかは解決しやすくなるのだろうか。調停をする人は、どんなことに気を付けるべきだろうか。」 S: 「片方にだけ肩入れして話を聞く人から解決方法を提案されても、不公平だから受け入れられない。」 「お互いの話をしっかりきいてから、よく考えてアドバイスをしてあげないといけない。」 「けんかの当事者の話を真剣に聞かないといけ	・ 前時までの学習を振り返らせながら考えさせる。	

	5 生活の中での紛争解決	<p>ない。」</p> <p>T：「自分たちの生活の中でけんかやもめごとが起きたら、どのように解決したらよいと思うか？」</p> <p>S：「暴力をふるわず、落ち着いて話し合う。」 「自分が言いたいことはきちんと言うべきだけど、言い方が悪いと余計けんかになるので、言葉づかいに気を付ける。」 「相手にも言い分があるかもしれないので、はじめから決めつけずによく聞いてみる」 「けんかしている当事者だけで解決できそうになかったら、他の人に間に入ってもらったら、言えなかったことが言いやすくなる。」 「けんかをして困っている友だちから相談を受けたら、公平な気持ちで一緒に解決方法を考える。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返らせながら考えさせる 	
まとめ	6 けんかとその解決について	<p>○けんかが起こってしまってもそれを解決することが大切であること、感情的に話し合うとうまくけんかを解決できないこと、当事者だけではうまく解決できなかったら、誰かに入ってもらうと話し合いがしやすいことについて、自分の考えをまとめる。</p> <p>○けんかに関する自分自身の過去の経験を思い出し、どのような点が弱かったのかを振り返る。</p> <p>○これからの自分の生活においてどのように生かしていくかを考えさせる。</p> <p>○大人の世界でも争いや対立は存在するが、当事者の間に入って争いを解決するものとして裁判所などの司法機関があることについて補説してもよい。</p>		ワークシート 3

けんかについてのアンケート

1, 今の学年になってから、どんな人とけんかしましたか？

- ・家族（両親，きょうだい）
- ・友だち
- ・誰ともしていない

2, 今までにどんな理由でけんかしましたか？思い出せるだけ，たくさん書いてください。

- ・相手が勝手に怒って，けんかになった　・ふざけて遊んでいた，じゃれ合ったりしているうちにけんかした
- ・注意したら，逆ギレされた　・テレビチャンネルの取り合い
- ・勝手に物を取られた　・暴力をふるわれた
- ・言い争い　・嫌がることをされたから　・待っていたのに一緒に帰りたくないと言われたから
- ・意見の違い　・悪口を言われたから
- ・どちらかの勘違い　・冗談を言ったら，誤解されたから
- ・友だちがまとまって，どこかへ行ってしまったから　・ちょっかいの出し過ぎ
- ・ぶたれたから　・ゲームで負けたから　・物の取り合い
- ・ばかにされた　・いじめられた　・暴力をふるってきた
- ・無視された　・陰口を言われた　・兄とどちらが先に風呂に入るかで

3, けんかをした後，その相手にどんな行動や態度をとりましたか？

- ・話さなかった　・恥ずかしくて謝れなかった
- ・にらみつけた　・その日は口をきかない　・しばらくすると，もとに戻るから普通にしている
- ・謝った　・嫌がらせをした　・話し合い　・無視した　・けったり，ぶったりした
- ・悪口を言った　・謝りたくないと思った

4, それは，どうしてですか？

- ・相手が話さなかった　・むかついたから　・うざったく思ったから　・早く仲直りをしたいから
- ・友だちでいたいから　・相手に頭をたたかれたり，体当たりされたりしたから
- ・自分が悪いと思ったから　・イライラしているから　・相手が悪いのに謝らなかったから
- ・謝らないと仲直りができないから　・ずっと，その状態にいるのはいやだから　・謝るとすっきりするから

5, その相手とけんかして，仲直りできなかつたら，あなたは，どうしますか？

- ・どこがいけないかを聞く　・どうしようと悩む　・許してもらうまで謝り続ける　・誰かに相談する
- ・そのままにしておく　・時間を置いてから謝る　・1人ぼっちになってしまう
- ・しばらく，そのままにする　・悲しくて，泣いてしまう　・友だちにわけを聞いてもらう
- ・裏切られたから，別にいい　・相手に優しくする　・あきらめる

6, 学校で友だち同士がけんかをしている所を見たら，あなたは，どんな行動をとりますか？

- ・けんかの理由を聞いて，お互いどうしたらいいか伝え，仲直りさせる　・止めさせる　・注意する。
- ・同じ気持ちになって考えてあげる　・暴力をふるったら，すぐに止める　・放っておく　・見ている
- ・原因を2人に聞く　・事情を聞く　・2人とも謝るように言う　・やめさせてもだめなら先生を呼ぶ

マンガの貸し借り（シナリオ）

年 組 名前（ ）

ある日、A君は、B君の家に遊びに行きました。

A君「おもしろそうなマンガ持ってるね。ぼくに貸してよ。」

B君「このマンガは、あまり貸したくないんだよね。このマンガを描いてるマンガ家のサインが書いてあるんだよ。」

A君「すごいね。おれ、このマンガ家のファンなんだよ！大事にするから、貸してよ。」

B君「しょうがないなあ。なるべく早く返してくれよな。」

A君「分かったよ。だいじょうぶだよ。」（A君は、マンガを持って家に帰る。）

2週間後、B君がA君の家に遊びに行きました。

B君「ぼくのマンガ、早く返してくれよ。」

A君「わかったよ。まだ返したくなかったけど・・・ありがとな。」

（ふくろに入れたマンガをB君に返す。）

B君は、家に帰って、ふくろからマンガを出したら、サインが書かれていたマンガの表紙が破れていて、すごくよごれていることに気がつきました。

次の日、学校で

B君「昨日返してくれたマンガの表紙が破れて、よごれていたんだけど、どうしてだよ？」

A君「そんなの知らないよ。」

B君「知らないわけないだろ。いつも、おまえは、そう言っとうそをつくんだよな。」

A君「なんだと！うそなんかついてないぞ！」

B君「うるさい！おれの大事なマンガをどうしてくれるんだよ！弁償しろよ！」

A君「おれには関係ないよ。なんでおれが弁償しなきゃいけないんだよ！」

B君「無責任なやつだな。やっぱり、マンガを貸すんじゃなかったよ。お前とは、もう遊

ばないからな！許さないぞ！」

B君は、A君をつきとばしました。

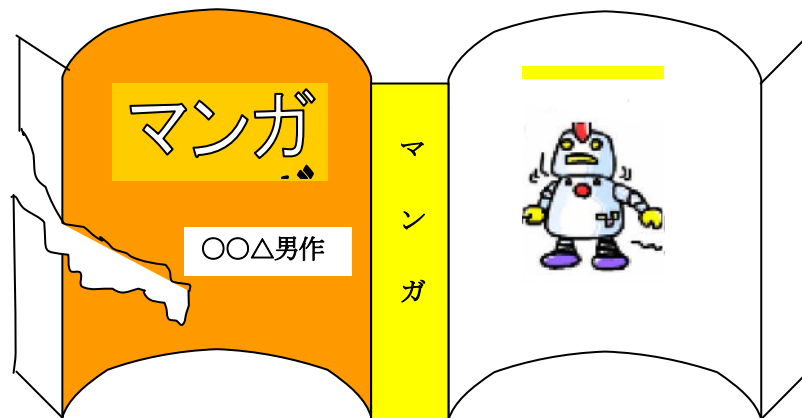
A君「痛いな！何するんだよ！すぐに暴力をふるうやつと、だれが遊んでやるかよ！おまえだって、おれに返してない物があるだろう！ばかやろう！おれだって、許すもんか！」

2人は悪口を言い合ってけんかになり、その後、口を聞かなくなりました。本当は2人も仲直りしたいけど、できないでいます。

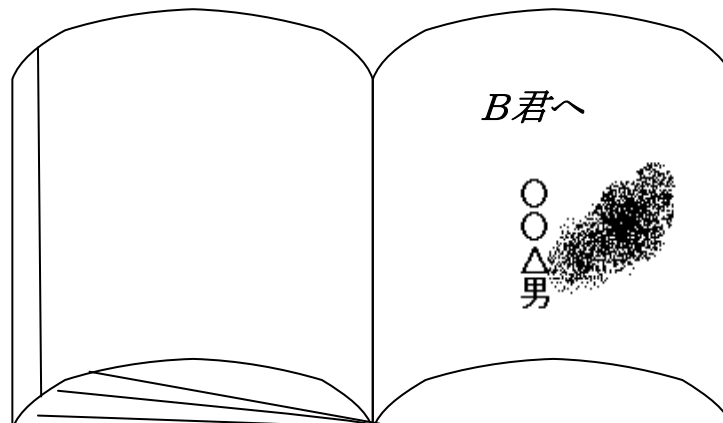
A君とB君がけんかしたとき、A君とB君の友だちであるCさんがそばにいて、2人の様子を見ていました。

A君とB君の問題をどのように解決したらよいですか。お互いが納得のいく（賛成できる）よい解決策を考えましょう。

表紙



サイン部分



友だちとのけんかをどのように解決したらよいのだろうか。

年 組 名前 ()

自分にとって、よい解決方法を考えてみよう () 君

うまく話し合いで解決できましたか。 はい ・ いいえ

(解決できた班) どうやって解決することにしましたか。

(解決できなかった班) 何が問題で解決できなかったのですか。

どうして、上のような話し合いの結果になったと思いますか。

話し合ってみての感想

どのような方法ならば、お互いがうまく解決できそうですか。

友だちとのけんかをどのように解決したらよいのだろうか。

年 組 名前 ()

() 君が考えた、仲直りができると思う解決策 (Cさんからの質問が終わったら書こう！)

うまく話し合いで解決できましたか。 はい ・ いいえ

(解決できた班) どのように解決することにしましたか。

(解決できなかった班) 何が問題で解決できなかったのですか？

話し合ってみた感想

シークレットカード (役割カード)

A君のシークレットカード

(マンガをよごした理由)

- ・実は3才の弟がマンガをよごして破ってしまった。

(B君から返してもらっていないもの)

- ・B君に貸したカードゲームのレアカードを5枚も返してもらっていない。

(B君に対して怒っていること)

- ・B君は、ふだんから暴力をふるうことが多く、今回もつきとばされて痛かった。

(あやまりたいこと)

- ・マンガをよごしたのは弟だけど、だまってマンガを返したことは、謝りたい。

B君のシークレットカード

(A君に対して怒っていること)

- ・大切なマンガをよごし、破っただけでなく、そのことをA君がだまっていたこと。

(知りたいこと)

- ・どうして、マンガをよごして破ったのか理由を教えてほしい。

(A君に返していないもの)

- ・A君のレアカードを5枚借りている。

(あやまりたいこと)

- ・つきとばしたことは、謝りたい。でもA君が先に謝らないかぎり、謝りたくない。

Cさんの質問カード

(質問のヒント)

- A君は、どんなことについておこっているのでしょうか。
- B君は、どんなことについておこっているのでしょうか。
- マンガの貸し借り以外に、困っている問題（サインが入ったマンガの表紙が破れていること、B君がA君に返していない物があること、Bくんがすぐに暴力をふるうこと）をどのように解決したいですか。
- 仲直りするためにA君とB君は、どうしたらよいですか。
- 謝ること以外に、相手にしてほしいことや、相手にしたいことは何ですか。

※その他に仲直りできるために聞き出したいことは、自分で考えて質問しましょう。

☆今までの質問から、私（ぼく）たちは、A君とB君が仲直りできる解決策を考えました。

◎A君は、（
理由は、（
）するのがいいと考えました。
）だからです。

◎B君は、（
理由は、（
）するのがいいと考えました。
）だからです。

☆わたし（ぼく）たちの解決策に、納得（賛成）できたら、言葉を交わして、仲直りをしてください。

☆まだ、お互いの考えや気持ちに、納得（賛成）できないとしたら、さらにお互いの考えや気持ちを落ち着いて話してください。

◎A君やB君から聞き出したことをメモしよう！

A君の解決策例

- ・ 謝りたい。
 - ・ マンガの代わりに、いまB君に貸しているレアカードのうち2枚と、汚してしまったマンガと同じマンガを貯金で買って渡したい。
 - ・ レアカードの残り3枚は返してほしい。
 - ・ 今後暴力はふるわないことを約束してほしい。
- (その他、話し合う中で出てきた意見をもとに、自由に考える)

B君の解決策例

- ・ 自分が悪かったことは謝る。
 - ・ A君の弟がやってしまったことは仕方ないので、別の新しい人気マンガ1冊を買ってもらい、わたしてほしい。
 - ・ 借りていたレアカード5枚は、A君にすぐに返す。
- (その他、話し合う中で出てきた意見をもとに、自由に考える)

Cさんの解決策例

- ・ A君は、弟がマンガを破って汚してしまったこと、だまってよごれたマンガを返してしまったことを謝る。
 - ・ B君は、A君をつきとばしてしまったことを謝って、もう暴力をふるわないと約束する。
 - ・ A君は、新品の同じマンガを買って、漫画家に手紙を出し、もう一回、サインをもらって、マンガを返すか、B君の気に入る新しい別のマンガを買って返すか、レアカードのうち何枚かをB君にあげるか、B君が納得する方法を選んでもらい、来週までに実行する。
 - ・ B君は、借りているレアカードを明日までに返す。
 - ・ 納得がいかないところがあったら、両親や先生に話して、アドバイスや意見を聞く。
- (その他、話し合う中で出てきた意見をもとに、自由に考える)

生活の中でけんかが起きたら、どのように解決したらよいのだろう

年 組 名前 ()

友だち同士の間で起きたけんかを解決するときに、お互いが注意しなければならないことは何ですか？

けんかに関係のない人がけんかの中に入って解決しようとする時、どんないいことがありますか？

けんかの中に入る人は、どんなことに気をつけて、けんかをしている人たちから話を聞けばよいですか？

これまで、自分自身や友達がしたけんかについて、「こうすればよかった」ということを書いてみましょう。

これから、生活の中でけんかが起きたら、どのように解決したらよいでしょうか？